

音楽への献身が紡ぎ出す
深き音の祈り

ホアキン・アチュカロ

ピアノ・リサイタル

Joaquín
Achúcarro
Piano Recital

～長い旅路を共に歩んだ 親愛なる作曲家たち～

ブラームス：間奏曲 Ⅰ短調 op. 118-1 / 間奏曲 Ⅰ長調 op. 118-2

ショパン：幻想即興曲 嬰ハ短調 op. 66 / 前奏曲 変ニ長調 op. 28-15 「雨だれ」

ドビュッシー：「霧」「風変わりなラヴィーヌ將軍」(『前奏曲集』第2巻より)

ガーシュウィン：前奏曲 第2番 嬰ハ短調 / 前奏曲 第3番 変ホ短調

モンサルバーチェ：シチリアーナ (1997年 J. アチュカロへ献呈)

モンボウ：前奏曲 第1番 / 前奏曲 第9番

ラフマニノフ：前奏曲 変ト長調 op. 23-10 / 前奏曲 嬰ハ短調 op. 3-2 「鐘」

スクリャービン：練習曲 嬰ハ短調 op. 2-1 / 練習曲 嬰ニ短調 op. 8-12 「悲愴」 他

“SOME DEAR COMPANIONS OF MY LONG VOYAGE”

J. Brahms: Intermezzo in D minor, op. 118-1 / Intermezzo in D major, op. 118-2

F. Chopin: Fantasy Impromptu in C-sharp minor, op. 66 / Prelude in D-flat major, op. 28-15 “Raindrop”

C. Debussy: “Brouillards” and “Général Lavine- eccentric” (Préludes, Livre 2)

G. Gershwin: Prelude No. 2 in C-sharp minor / Prelude No. 3 in E-flat minor

X. Montsalvatge: Siciliana (dedicated to Joaquín Achúcarro, 1997)

F. Mompou: Preludes No. 1 / Preludes No. 9

S. Rachmaninoff: Prelude in G-flat major, op. 23-10 / Prelude in C-sharp minor, op. 3-2

A. Scriabin: Etude in C-sharp minor, op. 2-1 / Etude in D-sharp minor, op. 8-12 and more

2026
7/1 19:00開演
6 (水) (18:30開場)

銀座 王子ホール

Wednesday, 1 July 2026, 19:00 / Oji Hall

チケット料金：7,000円(全席指定 税込)

2026
2/16(月)
一般発売

プレイガイド

チケットぴあ ▶ <https://t.pia.jp/> (Pコード: 316-806)

イープラス ▶ <https://eplus.jp/>

王子ホールチケットセンター ▶ 03-3567-9990 (10:00～18:00 / 定休日: 土曜・日曜・祝日)
<https://www.ojihall.jp/>

*出演者、曲目、曲順等が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

*出演者、曲目等の変更に伴うチケットの払い戻しはいたしません。*未就学児の入場はご遠慮ください。

お問い合わせ

オーバス・ワン：Tel. 03-5577-2072 (土日・祝日除く 10:00～17:00) info@opus-one.jp

ヤタベ・ミュージック・アソシエイツ：Tel. 03-3787-5106 (土日・祝日除く 10:00～17:00) ticket@y-m-a.com

主催：オーバス・ワン/ヤタベ・ミュージック・アソシエイツ

後援：駐日スペイン大使館



/一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ビティナ)

ホアキン・アチュカロの胸躍る、勝利に満ちた音楽の旅

スペインのピアノ界の最高峰、いや“ピアノそのもの”と言える存在のホアキン・アチュカロは(中略)今年もトゥールーズのジャコバン国際ピアノ音楽祭の舞台に戻ってきた。(中略)この特別なリサイタルのために、アチュカロは自ら「長い旅路を共に歩んだ親愛なる作曲家たち」とのプログラムを準備し(中略)丁寧に選び抜いた楽曲をただ演奏するだけでなく、繊細さと愛情、そしてユーモアを込めて紹介した。彼の演奏は圧倒的なパワーを持ち、まるでオルガンのように荘厳に響き、その解釈は深い確信に満ちている。(中略)豊かなレパートリーを誇るアチュカロは、心から愛する音楽の歴史を自在に旅することができる。バッハからスクリャービンに至るまで、彼が取り上げる作曲家たちは、途切れることなくその関連性を浮かび上がらせ、と同時にそれぞれの個性も際立たせていた。

Classic Toulouse (2024年9月28日)



ホアキン・アチュカロ (ピアノ)

現代スペイン音楽界を代表するピアニスト。1932年、スペイン・バスクのビルバオに生まれ、早くからスペイン、フランス、イタリア、スイスなどの国際コンクールで数々の賞を獲得。1959年に英国で行われたリヴァプール国際コンクールでの優勝以降、世界各地の主要コンサートホールで演奏を続けてきた。

これまでにベルリン・フィル、ベルリン・ドイツ響、ロンドン響、ロンドン・フィル、BBC響、ミラノ・スカラ座管、ローマ・サンタ・チェチーリア国立管、フランス国立管、ニューヨーク・フィル、シカゴ響、ロサンゼルス響など世界各国のトップ・オーケストラ、そして当然ながら、スペイン国内のほぼすべてのオーケストラに招かれている。アバド、シャイー、デイヴィス、メータ、メニューイン、小澤征爾、ラトル、ルイーゼ等著名指揮者と共演。近年も演奏活動は旺盛で、ヴェルビエ音楽祭へは2014年のデビュー後、頻繁に招かれ、その演奏には毎回、大きな拍手が送られている。録音も多く、ロドリゴのピアノ協奏曲を編曲・演奏し、ソニーよりリリースしているほか、同じくソニーよりファリャ、アルベニスなどスペイン作品を集めた2つの録音が再販されている。2018年にはLa Dolce Voltaから〈ショパン：24の前奏曲／舟歌〉がリリース、映像では、2011年にサイモン・ラトル指揮、ベルリン・フィルの演奏でファリャの〈スペインの庭の夜〉を収めたDVD“ファリャ & フレンズ”が、そして2023年には90歳の誕生日を祝って行われたグッゲンハイム美術館でのリサイタルを収録したDVDが共にEuroArtsより発売された。

2000年、その卓越した芸術上の功績が認められ「平和のためのユネスコ・アーティスト」に選出。2003年、当時のスペイン国王フアン・カルロス1世より国家功労十字勲章を授与された。1989年8月より長きにわたり、米国ダラスにある南メソジスト大学の名誉教授を務め、門下により多くの優秀なピアニストを輩出。2018年のジュネーヴ国際音楽コンクールピアノ部門ほか、多くのコンクールで審査委員長を務めている。

銀座 王子ホール

東京都中央区銀座 4-7-5 / Tel.03-3564-0200
<https://www.ojihall.jp/>



王子ホール
web site

電 車

- JR 有楽町駅下車.....銀座口から徒歩7分
- 地下鉄 銀座駅下車.....A12 出口から徒歩1分
- 地下鉄 銀座一丁目駅下車...8 出口より徒歩5分(※9 出口は2026 年 12 月まで閉鎖中)
- 地下鉄 東銀座駅下車.....A2 出口から徒歩3分

駐 車 場

※ホール専用駐車場はございません。ホール近隣の駐車場をご案内します。

- 銀座四丁目公共駐車場(銀座三越地下)[300円/30分]
- 西銀座駐車場 [310円/30分] 03-3572-5201
- タイムズビューリック銀座2丁目ビル 7:00 ~ 24:00[330円/30分]
- 新京橋駐車場 [200円/30分] 03-3563-6481
- 東銀座駐車場 [250円/30分] 03-3542-2991 (※2026 年 上 期 まで 閉 場 中)



ホアキン・アチュカロ 2026年ツアー日程

6月20日(土)15:00 / 神戸文化ホール 大ホール
ファリャ：スペインの庭の夜 (共演：神戸市室内管弦楽団)

6月23日(火)19:00 / サントリーホール
グリーグ：ピアノ協奏曲 イ短調 op. 16 (共演：読売日本交響楽団)

6月27日(土)17:00 / 札幌コンサートホール Kitara
グリーグ：ピアノ協奏曲 イ短調 op. 16 (共演：札幌交響楽団)

6月28日(日)13:00 / 札幌コンサートホール Kitara
グリーグ：ピアノ協奏曲 イ短調 op. 16 (共演：札幌交響楽団)